

令和3年度 第2回紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録要旨

【開催日時】 令和3年10月4日（月） 13時30分から14時20分まで

【開催場所】 紀の川市役所 本庁3階 庁議室

【出席者】

○紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会（委員8名内8名出席）

仁藤委員（近畿大学生物理工学部地域交流センター センター長）

野村委員（紀の川市立地企業連絡協議会 会長）

高瀬委員（和歌山県那賀振興局長）

立元委員（株式会社日本政策金融公庫和歌山支店 支店長）

濱畑委員（和歌山公共職業安定所 所長）

中村委員（株式会社和歌山放送 代表取締役社長）

林委員（紀の里農業協同組合総合企画部 部長）

森委員（紀の川市自治連絡協議会 会長）

【欠席】 なし

○事務局（企画部・企画経営課）（4名）

角企画部長、栗本企画部次長兼企画経営課長、今井、増田

○傍聴人（1名）

那賀振興局 企画産業課 船倉課長

【会議の概要】

1. 開会（13：30）（司会：栗本次長）

2. 会長挨拶

紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 仁藤会長から挨拶。

3. 議題

○議長（仁藤会長）

「会議を公開」するために簡潔に取りまとめた議事録の公開並びに音声録音の承諾。

委員の過半数以上が出席しているため、会議が成立していることを報告。

議題 i) 「紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理」について

基本目標評価シート(資料①)をもとに、「数値目標の状況」・「KPI(重要業績評価指標)の状況」を中心に、進捗状況について説明。

また、委員からいただいた意見を踏まえた「審議会による検証結果」について説明を行い、追記・修正、質疑等の審議を求める。

【質疑・意見】

委員：観光に関しては、北海道や北陸の人気スポットで予約がどんどん入っている地域があると聞いています。是非、当地域もコロナ禍から本格的に回復後に来てくださった方が気持ちよく観光して帰っていただけるようにもう一度確認というかチェックをしていただいて、リピーターになっていただけるようなことを考えて欲しいと思います。

近畿大学には2,000人の学生さんがいらっやって半分ぐらいが県外からの通学。大学の周りに下宿するというのが大学生というイメージがありまして、少しでも多くの方が地域のどこかに住んでいただけるようなことがあれば経済的にもありがたい。その方々が地域でいろいろな活動をしていくことによって地域の活性化に繋がっていくのではないかと思います。

委員：近畿大学は残念ながら紀伊駅から入ってきますので、こっちの奥までは来ないんです。岩出市は結構潤っているようですが紀の川市にはこぼれてこないんです。住民登録すると、選挙権は紀の川市になってますので、引き続き市としても引き込むように、大学の中でも紀の川市の情報は積極的に流しております。

委員：指標の分析の中で0歳から14歳で転入超過になっているがその理由は、30代ぐらいの世代が転入してきているのか。そうでないのか。

事務局：結婚を機に紀の川市を転出するが、子どもが生まれて紀の川市に戻ってくる世帯が増えていることにより0歳から14歳で転入が増えています。

委員：ふるさと納税が伸びている理由は。

事務局：地方税法が改正され地場産品しか扱えないようになりました。元々紀の川市の一番の売上が良かったのは「あらかわの桃」で、他市町村でも扱っていたものが、紀の川市のみになったため一気に増えたというのが要因です。ふるさと納税全体で令和2年度で5億3,000万円程度ありましたが、そのうち8割が桃です。

委員：移住はハードルが高く、なかなかそう簡単には伸びない。国も副業を希望する人と企業をマッチングする仕組みを行っています。紀の川市出身の都市部で働く人、東京、大阪、名古屋

屋、福岡、広島全国にたくさんいらっしゃる方々が、例えば週 1 回・2 回でもリモートで地域に貢献した若しくは週末だけ地元で仕事する、こういったニーズは必ず存在すると思いますので、このような都市部で働く現役世代のマンパワーを何か有効に使えるような施策を強く打ち出してはどうかと思っています。移住はできなくても地元で貢献したい人は必ずいますので。

事務局：担当部局にご意見をお示しさせていただきます。

委員：立地企業も海外からたくさん雇っている。紀の川市では外国人登録はどのくらいあるか。

事務局：9 月末はまだ集計できていませんので、8 月末の数字になりますが、男性が 216 人、女性が 211 人、合計 427 人の登録があります。

委員：高校生の就職活動で地元で就職する割合はどの程度か。

事務局：今データがありませんので、どの程度かお答えできませんが、高校生の方においても事業としては、将来の選択肢の中で創業セミナーや雇用関係の相談といった事業は実施しています。

委員：ハローワークにある情報では、高校生の卒業生の約 2 割強が就職希望です。そのうち 3 割強が県外です。

事務局（会議終了後担当課に聞き取り）：粉河高校 18 人/234 人、貴志川高校 71 人/125 人が就職。市内市外の就職率は不明。

委員：若い世代で地方への関心が高まっている。仕事を持ったまま地方で家族と広い家で暮らしたいと考えている。どういうイメージかという、普段はテレワークで仕事をして、たまに都会へ出ていくと。当地域は、大阪にも近いし、関空にも近いので東京に行こうと思えばすぐに行ける。この環境はテレワークを行うには非常に有効である。若い世代が引っ越してこっちに住もうと思えば子どもの学習環境や医療環境が重要。5G や Wifi、パソコン 1 つで仕事ができるということも重要ではないか。そういうところを早く先進的に整備できれば優位性が出てくる。企業は当然利益を考えて整備していきますので、そういうのをうまく積極的に捕まえてほしいなと思います。社会インフラの整備も少し協力してあげれば先に整備してくれると思いますので、ぜひそういうチャンスを逃がさず捕まえてほしいと思います。非常に優秀な技術をもった方が副業であったりとか、企業を退職して何か仕事をしようという方はたくさんいらっしゃると思っています。そういう仕事をするためにも出張でこっちへ来てもらうことは難しいので、5G を使えば顧問みたいな感じで通信で仕事をしてもらうとか、技術的なことを教えてもらうとか、そういうことであれば非常に有効ではないかと思います。

事務局：Wifi につきましては、本庁舎、フラワーヒルミュージアム、交流拠点、河北・河南図書館に整備しています。5G については、紀の川市も一部地域で通信できる状況になってい

るところで、今後徐々にそのエリアの整備状況が増えてきています。

委員：紀の川市の教育委員会では、設備、コンピューターの ICT 化が県内で一番早い。小中学校のエアコンの導入は、紀の川市は岩出市と比べると数年早く完備している。子どもの育てやすい環境だと実感しています。

紀の川市の人口増加、あるいは雇用創出に対してのご提案、他市町村での取り組みなど最新の情報などありましたら教えていただきたいと思います。

委員：島根県では過疎が進んでいる厳しいところですが、隠岐の島で学生を一生懸命呼び込んで、高校なんて非常に多くて有名です。かなりの割合で県外から人気があり学生がたくさん入っています。自治体の中だけで学生を囲い込んでいくのも厳しくなっていますので、県外からの高校生留学を一生懸命あつせんする、呼び込む、そのためには当然いろいろな施策を打ち出さないといけないのですが、こういう取り組みも一つ面白いのかなと思っています。和歌山県は高校生の就職割合が日本でも一番低かった。最近知事も大学をたくさん引っ張ってこられたりということで改善しているということもありますので、県外の高校生の方をどんどん留学を認めていく。県外からせつかく和歌山の高校に来ていただいた人はそのまま残っていただくと大きなサイクルが生まれるといいなと思います。

委員：近年紀の川市も高齢化率が進んでまして今で 33.3%とかあります。国では 9 月にデジタル庁が発足しました。紀の川市においてもマイナンバーカードや事務のスピードアップを図ったり合理的にするためにデジタル化に取り組んでいかれると思います。防災行政無線を聞きますと「ホームページで確認してください。」とありますが、高齢者 1 人、子どもと住んでいない、このようなときにどうしたらいいか戸惑うひとが多いです。コロナの予防接種にしましてもネット予約だと早い。高齢者のことを大事に考えていく施策を考えていただきたい。個人情報、やプライバシーの問題がありますが、区長というのは住民とつながりが近いのです。区長が動きましてやっていく必要があると痛感しています。

委員：第 2 期の総合戦略の中に地域の特性を生かして地域の稼ぐ力を高め、所得循環型という記載があります。やっぱり人に来てもらおうとか、逃げられないようにしようと思えば儲けられるという考えが非常に重要だと思います。行政はいろいろ補助金を出したり、こういうところがいいですよって引っ張ってくるんですけど、やっぱり最後は稼いで自立してもらわないと意味がなくて、そういう姿を見たらまた違う人が来てくれるんじゃないかと思います。農業であったり、新しい事業を支援するということも最後は自立して儲けるというところに重点を置いた支援が必要。いい話もして来てもらう努力も当然必要ですが、やっぱり自立して儲けてもらうという絵が描けるような支援を。そういう形での支援を頭の中に置いた上で、やっていかないとだめではないかと思います。第 2 期の目標の中に稼ぐ力を高めると入れていただいたのは非常によかったと思います。

委員：今日皆様からお伺いしたご意見、これにさらに追加するところは追加するという事で、
最終案を作りたいと思いますが、そのあと事務局と私にお任せいただいて、できた段階で
委員の皆さんに郵送して確認いただくという流れでよろしいでしょうか。

委員：はい。

【その他】

(特に委員からの意見なし)

6. 閉会 (14:20)